

ろう重複障害者・ろうあ高齢者福祉を支援する

法人&法人後援会創立30周年記念

みんな来チャリティ公演28

第1部 HAND SIGN



TATSU



SHINGO



瑚 (さんご) ダンサー



第2部 トークショー

第3部 お楽しみ福引

なかまの里劇団主催の手話歌
もあるよ!

2024 年

11月24日 (日)

12:30 ~ 16:00

(開場 12:15)

参加協力券

大人 2,500円 (当日 3,000円) ※ おつりのないようにご用意をお願い致します。

小人 (小学生まで)、なかま 1,500円 (当日 2,000円)

前売り券が完売した場合、当日券はありません。 ※ 収益は、ろう重複障害者・ろうあ高齢者福祉の支援に役立てられます。

体温が37.5℃以上の場合はご来場はご遠慮願います。

会 場

貝塚市民文化会館

コスモスシアター

〒597-0072 大阪府貝塚市富中1-18-1 ※ 公共交通機関でお越しください。

水間鉄道 貝塚市役所前駅下車 徒歩7分 または 南海線貝塚駅下車 徒歩約15分

主催：社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会

手話で築く豊かなくらし

大阪には、聴覚障害者のコミュニケーション（手話や身振りなど）を大切にした専門施設や相談出来る機関がまだまだ不足しています。聴覚障害者の福祉向上のためにはたくさんの賛同者が必要です。ぜひ法人後援会の活動にご協力をお願い致します。

「聞こえない」障害のほか、知的、視覚、精神、肢体などに障害のある「ろう重複障害者」が大阪府内に推定約600名以上おられます。「なかまの里」「あすくの里」「あいらぶ工房」「ほくほく」「なんなん」「ほくほく障害者作業所（堺市）」ができた今でも、手話や身振りで気持ちを伝えられないろう重複障害者が一般の知的障害者施設に入・通所したり、社会的な支援を利用できず、在宅で生活されているのが現状です。

介護保険制度を利用しても、ろうあ高齢者のニーズに対応できる老人ホーム、在宅介護サービスは、「あすくの里」や「大阪ろうあ会館」の他にはほとんどありません。ろうあ高齢者、ろう重複障害者のための施設や作業所、グループホームなどが不足しています。

食事や入浴の介護が受けられても、コミュニケーションがとれないと集団の中で孤立し、独り寂しい思いがますます大きくなってしまいます。中には体調を崩して利用を止めてしまう人、生きる意欲をなくす人もいます。私たちの今後の取組みは、ろう重複障害、ろうあ高齢者の暮らしを支える社会資源（介護サービスや障害者福祉サービス）を創り出すことです。

また、法人後援会は手話関係者と協力して、大阪府内6ブロックにろう者の拠点となるセンターを作る運動を展開しています。北摂、泉州に続いて、京阪ブロックに聴覚障害者センター（仮）建設を目指して、取り組んでいます。

各施設のキャラクターを紹介します！



なかまの里（1994年開所）



あすくの里（2005年開所）



あいらぶ工房（2007年開所）



北摂聴覚障害者センターほくほく
（2015年開所）



泉州聴覚障害者センターなんなん
（2020年開所）

会場までの地図



**みんな来チャリティ公演
28にご参加いただくと同
時に、法人後援会会員の
継続・入会も
よろしくお願いします。**

キャラクター付き付箋も好評販売中！（300円）

お問い合わせ先・参加協力券申込先

社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会事務局

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番 TEL 072-959-2324 FAX 072-959-2632